

室戸ユネスコ世界ジオパークにある唯一の高校！

ジオリゆう未来のために



高知県立室戸高校  
林、谷口、多田、清兼

10 人や国の不平等をなくそう

すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないようにすすめる  
 「災害発生時に、体力の有無や言葉の壁によって、一部の人が避難や避難生活から取り残されないように」

11 住み続けられるまちづくりを

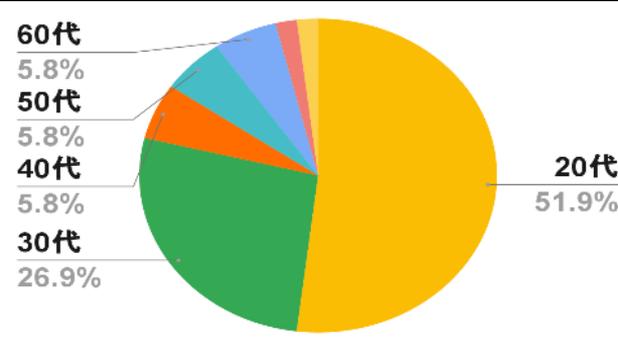
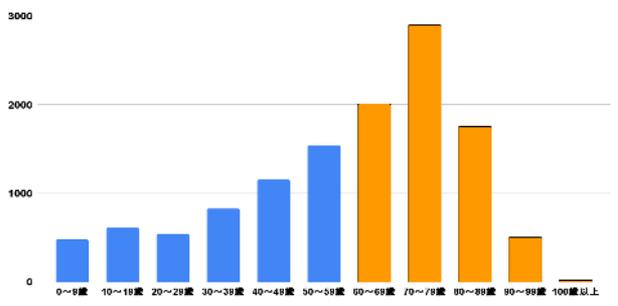
女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う

「室戸をより安全・強靱かつ持続可能なまちにするために、災害に備える」

室戸市の現状



特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国の東部</li> <li>・ ユネスコ世界 ジオパーク</li> <li>・ 日本で5番目に人口が少ない市</li> <li>・ 高齢者が過半数を占める</li> <li>・ 外国人労働者が英語圏だけではない</li> </ul>
課題	<p>「南海トラフ地震のようなマグニチュード8-9クラスは70~80%の確率で起こる」という予測の中で室戸市には24メートルもの津波が3分間で到達するといわれている。10分~20分で津波の浸水が始まるため揺れながら避難しなければならない。</p>
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害に対する設備が整っていない</li> <li>・ 防災対策に対する室戸市民の意識の低さ</li> <li>・ 津避難タワーの普及率が低い</li> <li>・ 避難所運営の見直しの必要性がある</li> </ul>



※私たちは室戸市の現状に応じた防災・減災の取組について考える



## 2つの視点から5つの取り組み

### 高齢者・外国人

#### 蓄光テープ 応急手当



夜間、災害が起こったときの避難の目印として蓄光テープの貼付を行った  
代用品で行う応急手当の方法を知り、災害時に実際に役立てられる知識となった

### 高齢者

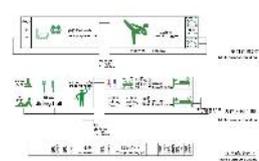
#### ダンボールベッド



避難所宿泊体験で感じた身体への負担を軽減するために制作し、効果を確認した  
材料はダンボールとガムテープのみ、30分ほどで作れ、強度も確認できたため、災害時に実際に使えると感じた

### 外国人

#### 校内見取り図



ピクトグラムを利用して視認性を高めた。日本語だけではなく英語も取り入れ、多くの人が理解しやすいデザインに仕上がった  
**避難所運営マニュアルの翻訳**  
避難所には外国人の方も避難してくることを考慮し、作成した。音声も録音し、避難所で実際に活用する

## 取り組みの成果と課題

複数の視点から問題に取り組むことで、一人ひとりにあった配慮が必要だと分かった→**公平<公正**  
外国人の方に対しては外国人に対する配慮を、高齢者の方には高齢者に対する配慮を考えることができた  
それが結果的にユニバーサルデザインを意識した誰に対しても必要な配慮につながるようになった

## 今後の展望

活動を通して学んできたことを外に広く発信し、実際に災害が起きたときに皆が役立てられるよう取組を続けたい